

平成25年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 51

千葉県立松戸六実高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校を特に強く志望し、動機及び理由が適切で、本校に適応する学力及び適性を有し、次のア、イ又はウのいずれかの項目に該当する者

ア 学習成績に優れ、入学後も引き続き積極的に学習に取り組む意志を持っていること。

イ 運動系部活動等で優れた実績又は素質を有し、入学後も継続して活動する意志があること。

ウ 体育・文化・芸術活動及び特別活動や奉仕活動等の一芸一能に秀でており、入学後も活動実績等を生かして活動する意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の得点の合計により評価する。
(2) 調査書	評価項目の各項目を基にして数値等で評価する。
(3) 志願理由書	本校入学の意思確認のための資料とする。
(4) 自己表現	自己表現の各評価基準により評価する。
(5) 面接	面接の評価基準により評価する。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

下記のアの数値にウの数値を加えた合計値を調査書点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。
イ 出欠の記録	3ヶ年の欠席日数の合計が、15日以上の場合は審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録 ・部活動等の記録	学級活動・生徒会活動・学校行事・部活動・検定・その他の活動について、積極的に取り組んだ内容を本校の基準により数値化し、加点する。

(3) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願理由等	志願理由及び自己アピールの内容を確認し、評価する。

(4) 自己表現

自己表現の各評価項目について、本校の基準により A・B・C の 3 段階で評価する。

ア 学習に関する 1 分間スピーチによる自己表現（1 の期待する生徒像 アに該当する受検者）

高校 3 年間に於いて、積極的に学習に取り組む意志を 1 分程度にまとめて口頭で発表する。

評価項目	評価基準
(ア) 意欲	意欲を持って取り組む姿勢が見られるか。
(イ) 話し方	わかりやすい構成であり、明瞭かつ正しい言葉遣いで話しているか。
(ウ) 態度	本校の生徒としてふさわしいか。

イ 部活動の実技による自己表現（1 の期待する生徒像 イに該当する受検者）

入学後必ず加入する意志のある部活動を選ぶものとする。それぞれの部活動に関する基本的な実技を行う。

評価項目	評価基準
(ア) 意欲	意欲を持って取り組む姿勢が見られるか。
(イ) 素質	3 年間活躍する素質があるか。
(ウ) 技能・知識	必要な技能・知識を身に付けているか。

ウ 一芸一能による自己表現（1 の期待する生徒像 ウに該当する受検者）

今まで打ち込んできた事を 3 分程度にまとめ、実演または説明をする。

評価項目	評価基準
(ア) 意欲	意欲を持って取り組む姿勢が見られるか。
(イ) 活動実績	優れた活動であるか。
(ウ) 将来性	さらに一芸一能を伸ばし、高校生活に生かせるか。

(5) 面接

面接の各評価項目について、本校の基準により A・B・C の 3 段階で評価する。

評価項目	評 価 基 準
ア 志望動機	本校を選んだ理由（志望動機）が適切であるか。
イ 意欲・態度	高校生活に積極的，意欲的かつ誠実に取り組むことができるか。
ウ 話し方	設問に対する理解力があり，適切に応答できるか。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき，「学力検査の成績」，「調査書」，「志願理由書」，「自己表現の評価」，「面接の評価」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

ア 「学力検査の得点」と「調査書点」の合計により順位を付け，学力検査の得点，調査書点，出欠の記録，自己表現及び面接の評価において，本校が定めた基準を上回る者を入学許可候補者内定者とする。

イ 上記アに該当しない者について，「学力検査の得点」，「調査書点」，「志願理由書」，「自己表現の評価」，「面接の評価」等を総合的に判定して，各資料に問題のない者から入学許可候補者内定者とする。

(2) その他

ア 内定者のうち，隣接県協定による内定者数は，内定者数の制限比率の範囲内とする。

イ 自己申告書が提出された場合には，選抜のための資料に加え，提出されたことにより，不利益な取り扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度生については，上記 2 の（5）の面接の他に，話を聞く機会を設ける。